

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

令和3年9月7日（火）

開 会（午前9時35分）

【議 事】

○議案第73号「所沢市立児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について」

【補足説明】 な し

【質 疑】 な し

【意 見】 な し

【採 決】

議案第73号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと決する。

○議案第78号「所沢市立みどり児童館の指定管理者の指定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

城下委員

今回また5年の指定管理ということで、3期目になると思うが、2期目の総括はどのようにしているのか。課題等も含めてお示しいただきたい。

三上青少年課  
長

みどり児童館につきましては、平成24年度から指定管理者制度を導入させていただいておまして、それ以前の直営時の年間利用者で言いますと3万人程度でした。指定管理者制度を導入しまして7万人から当初の5年で8万人ということで、倍以上に利用者が増えている実状がございます。また、実績評価でも入れさせていただいておりますが、市が年4回実施しているモニタリング、また年1回実施している利用者アンケートの結果からも、非常に評価が高く安定している運営ができているものと認識しております。また、今回選定を受けたうえでも、選定委員からは劣っているといったようなネガティブな意見はございませんでした。こうしたことから、株式会社コマームは安定して児童館の運営を任せられる団体と認識しております。

城下委員

課題もあると思うが、どういったものが課題として出されているか。

三上青少年課  
長

課題といたしましては、利用者数は増えてはいるのですが、中高生の利用が想定していたよりも少ないというところがございます。中高生の利用をいかに増やしていくかというところが課題としてあると認識しております。

城下委員

中高生の居場所づくりということでは、この間、議会の一般質問を含めて議員も様々な問題提起をしていると思うが、今回の選定の中で、こういう中高生の利用が少ないという課題に対して、指定管理者側から何か提案のようなものが盛り込まれていたのか。

三上青少年課  
長

今回募集に当たりまして、仕様書の中でも中高生の利用を拡大するために、遊び等を通じて相談しやすい環境づくりをやってほしいということを追記いたしました。また、運営していただいている株式会社コマームにおいても、地域ですとか、近隣の中学校等と連携した事業などを導入しまして、中高生の利用拡大を図っていきたいということで提案を受けております。

城下委員

議案資料ナンバー2の資料73ページの「1 実施体制 ②人員確保の方策が計画されているか」というところで、48点満点に対して40点ということだが、職員の継続的な勤務というのは子供たちとの信頼関係が深まるので、そういう意味での職員の定着率がどうなっているのか。

そのうち、職員の中で市内在住の方がどのくらいいるのか、その辺りを示していただきたい。

三上青少年課  
長

職員配置についてですが、仕様書で言いますと常勤8名、補助職員12名の20名以上と規定しております。今回、株式会社コマームから提案されたものは常勤11名、補助員11名の22名ということで、常勤職員を多く配置していただく予定となっております。また、職員の雇用状況ですが、今回5年目を迎えるに当たって、5年間継続しているみどり児童館の職員につきましては、全体28名中13名ということで、約46%となっております。また、市内に在住している職員の雇用ですが、こちらでも28名中19名ということで約68%となっております。

**【質疑終結】**

**【意見】**なし

**【採決】**

議案第78号については、全会一致、可決すべきものと決する。

○議案第74号「所沢市立かしの木学園条例の一部を改正する条例制定  
について」

【補足説明】なし

【質 疑】なし

【意 見】なし

【採 決】

議案第74号については、全会一致、原案のとおり可決すべきものと  
決する。

○議案第77号「所沢市立かしの木学園の指定管理者の指定について」

【補足説明】なし

【質 疑】

長岡委員

議案資料ナンバー2の65ページの「Ⅲ運営体制・組織」の中の「経費の縮減」が24点満点中8点となっているが、総合評価とコメント欄で、もう少しこうしたほうがよいというようなコメントもないが、市のほうから何か改善案を提案しているのか。改善が見込めるということによいか。

岩雲こども福

祉課長

歳出の部分でほんのわずかですが、こちらが積算した金額を上回っておりましたので、経費の縮減、消耗品とか相手方の努力によって改善できる部分であると判断させていただきました。

城下委員

かしの木学園は、障害のあるお子さんが利用するということと合わせて、親の交流の場でもある大変重要な福祉の場ということで、コロナ禍の中で苦勞されながら選定委員会を開催したと思う。議案資料ナンバー2の66ページに「独自評価事項」ということで、新型コロナウイルス感染症などの様々な感染症対策ということで現場も大変だと思うが、今回の選定にあたって、コロナ禍の中で配慮した事項があれば示していただきたい。

岩雲こども福  
祉課長

今回のコロナ対策といたしまして、こちら側からしますと感染症に対する消耗品ですとか、物品に関するものといった経費につきましては、計上させていただきまして感染対策のほうをしっかりと行える体制を整えていただければと思っております。

城下委員

エッセンシャルワーカーという方たちが感染リスクと隣り合わせとなっている。障害児のお子さんが感染すると重篤化するということに人的配置も大事だと思うが、選定に当たってのその辺りの議論や配慮した面があれば示していただきたい。

岩雲こども福  
祉課長

人員の配置につきましては、児童5名に対して1名の指導員等を配置する形となっておりますので、目指す形では配置させていただきました。

**【質疑終結】**

**【意見】**なし

**【採決】**

議案第77号については、全会一致、可決すべきものと決する。

休憩（午前9時49分）

（休憩中に協議会を開催）

再開（午前9時50分）

○閉会中の継続審査申出の件について（特定事件）

末吉委員長

閉会中の継続審査申出の件については、別紙の内容で申出を行うこと  
と決定した。

散 会（午前9時52分）



## 特定事件 常任委員会閉会中継続審査申出表

令和3年第3回（9月）定例会

### 健康福祉常任委員会

- 1 地域福祉について
- 2 障害者福祉について
- 3 高齢者福祉について
- 4 社会保障について  
（低所得者支援・介護保険・国民健康保険・高齢者医療）
- 5 子ども支援について
- 6 青少年育成について
- 7 保健・医療について